

ステークホルダーとのかかわり

Information for Stakeholder

株主・投資家・マスメディアなどステークホルダーに向けての情報発信は適切な情報開示の観点からも重要なものと考えています

当社では、経営方針や会社の業績、新技術の開発などを、さまざまなツールを通して開示しています

IR説明会の開催

機関投資家・アナリスト・マスコミを対象としたIR説明会を、本決算と第2四半期決算時に開催しています。また、中期経営計画など会社の経営方針に関する説明会も適宜開催しています。

2010年3月期に関しては、第2四半期決算、本決算の説明会を開催したほか、本決算の説明会と同時に、2010年度を初年度とする「新中期経営計画」の説明会を開催しました。「中期経営計画」の説明会資料については、ホームページにも掲載し、幅広いステークホルダーに開示しています。



2010年3月期 本決算・新中期経営計画 説明会

ホームページをリニューアル

1999年11月に開設したホームページのリニューアルを、2009年11月に行ないました。

今回のリニューアルでは、情報開示、顧客サポートの視点から、株主・投資家情報、東亜の技術のページの充実を図り、決算説明会資料の掲載や保有技術の大幅な追加掲載を行ないました。また、学生向けの採用情報ページも新たに開設し、幅広いステークホルダーに向けた情報発信ツールとしての機能を充実させています。

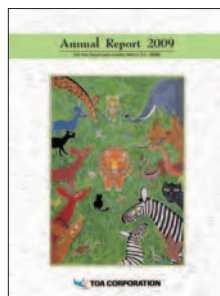
ステークホルダーと当社をつなぐ情報発信の重要なツールとして、今後も改善に努めていきます。



さまざまな情報発信ツール

株主の皆様には、毎年、6月末に開催している株主総会招集通知の添付書類「事業報告」に該当事業年度の業績を記載しているほか、株主総会開催後、ダイジェスト版として「報告書」を送付しています。

また、ホームページの株主・投資家情報における決算短信、有価証券報告書の掲載や、海外のステークホルダー向けに制作したアニュアルレポートなどを通じて情報開示に努めています。



アニュアルレポート 2009



TOA146号

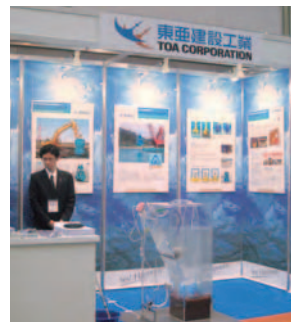


新聞・雑誌広告

建設産業の重要性と魅力をPR

毎年、各地で開催される建設技術フェアや環境展示会に出展しています。

当社保有の技術のPRの場であるだけでなく、安全・安心な社会をつくる建設産業の重要性や魅力をアピールすることで、一人でも多くの来場者に理解と信頼を深めてもらう場となっています。



建設技術展2009近畿

2009年度の主な技術開発リリース

- ・深層混合処理船「黄鶴」を建造
- ・曳航式海底測量システム「ペルーガ・ディープ」を開発
- ・薄層浚渫を効率的に行なう「ワイドグラブパケット浚渫工法」を開発
- ・潜水士の減圧症を予防する「減圧管理システム」を開発